

自慢の作品が勢ぞろい 作品展示会

出品数 263点
出品者数 81名

11月29、30日の2日間にわたり、第25回作品展示会が市民ギャラリーにて開催されました。この作品展は会員の文化活動の発表と交流の場となっています。会員の趣味を生かした作品が会場にずらりと並び、想いがこもった作品が来場者の目を楽しませていました。



木のぬくもりを感じる木工作品



私も作ってみたいなあ



あれも、これも上手だね

生きがいを持って
高齢期を過ごす



米沢市老人クラブ連合会
会長 遠藤 新三

超高齢社会にあつて、団塊の世代がやがて三人に一人が高齢という時代が来ます。地域の支え合い体制が心配となって来ます。今後も生涯学習、スポーツ、レクリエーション等、生きがいを持って推進し、地域社会の支えとなり意識啓発と社会参加の推進を促します。

コロナ感染が流行している中で、意識しての活動で健康づくり、仲間づくりを推進してまいりました。今年度も予定通りの事業を実施できない現状でしたが、三年ぶりに体育レクリエーション大会を実施出来たことは大きな成果でした。その他グラウンドゴルフ大会、健康講座、作品展等、皆様のご協力により無事終了いたしました。山形県老人福祉大会が残念ながら中止となりました。

今後とも厳しい状況ではありますが健康に留意され、何卒皆様のご協力をよろしくお願い致します。

第21回グラウンドゴルフ大会

9月28日に50名の参加による大会を米沢市営人工芝サッカーフィールドにて開催しました。晴天の中、のびのびとプレーし、日頃の練習の成果を存分に発揮しました。恒例のホールインワンゲームでは、和気あいあいとした雰囲気の中でゲームを楽しみました。



仲間とはつらつプレー



優勝	北部地区
準優勝	上郷地区
3位	万世地区
4位	山上地区
5位	東部地区
ホールインワン賞	14名

今を思う



米沢市老人クラブ連合会
副会長 石田 しづ子
女性部長

今、人々はコロナ、戦争、物価高騰、気候変動、自然災害、貧困等々で喘(あえ)いでいる。社会情勢の変化が著しく、私達も本当に気が休まる事がない。この先どうなっていくのだろうとの不安は残る。何も考えず天真爛漫だった時代が懐かしい。ゆったりとし、空にはゆっくり雲が流れていたなあ。そういう事を感じ取られる環境の世の中だった。もう、マスクを外し自由に行き来したい気持ちでいっぱいだ。

四年度は、女性部会として七月に旧長井小学校を見学し、しらすぎ荘で一日研修、九月に陶芸教室でフクロウの作品作り、十月には、飾り巻き寿司の料理教室を楽しく実施することが出来ました。健康講話で「免疫力アップ健康法」をお聞きし、自分の生活習慣の見直しも出来、大変有意義な時間、情報でした。

老人クラブの発展過程は、孤独を解消し、仲間作りの楽しさの中で、物事を考え、つくり、その喜びを分かち合う集まりとされ、人や社会の為に役立ち、社会奉仕に力を入れる。

私達女性部もその過程を大切に活動して行きたい。

健康講話を開催

11月10日すこやかセンターにおいて、健康講話を開催し50名が参加いたしました。講師に元公立高島病院副院長の大木宏先生をお迎えし、免疫力アップのための知って得する健康習慣を教えてくださいました。大木先生のユーモアを交えながらの説明に、参加者の皆さんは熱心に聞き入っていらっしゃいました。後日、健康法を実践された会員さんは「だいぶ体が楽になった。講習会に参加して良かった。」との感想がありました。今後も健康増進につながるように様々な講習会を実施したいと考えています。

免疫力アップ↑



10月 料理教室



9月 陶芸教室



7月 一日研修

